

【資料1】

平成22年度 佐賀県立佐賀西高等学校 学校評価計画

1 学校教育目標				
<p>創立以来135年にわたる歴史を有する本校の校是である「質実剛健」、「鍛身養志」のもと、生徒一人一人が教職員並びに生徒相互間に敬愛と信頼を中心とした好ましい人間関係を築き、「熱き心（若々しい情熱）」・「寛き心（思いやりの心）」・「毅き心（チャレンジ精神）」を醸成し、忠恕の心を忘れず己の可能性に挑戦することで、高い知性と広い視野を持ち、次代の日本・世界をリードする人材育成を目指す。</p>				
2 学校経営ビジョン				
<p>①県下第一の伝統と実績を誇る学校として、生徒・保護者・県民の期待に応え得る学校づくりを目指す。 ②学業面では全国レベルを視野におき、部活動でも県下の上位を目指すなど、学業と部活動の双方に優れた学校づくりを目指す。 ③豊かな人間性を構築するために、西高生としての品位と品格を涵養できる豊かな教育環境を持った学校づくりを目指す。</p>				
3 本年度の重点目標		4 前年度の成果と課題		
<p>6万余の卒業生によって築かれた歴史と伝統を継承し「学力向上」・「豊かな人間性の構築」を第一義とし、忠恕の心を忘れず、己の可能性に挑戦する佐賀西高等学校生を育成するため、特に次の6点に力を入れることにより、心身ともに健康で明るく元気で活力ある学校づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる学力向上と高いレベルの進路保障を実現する ・教科指導力の向上を図り、授業の充実を目指す ・PDCAサイクルにより自己向上力を育成する ・基本的生活習慣の更なる確立に向けた取組を実践する ・豊かな心を育むための学校行事を推進する ・メリハリのある文武両道の実践に取り組む 		<p>学年や進路指導部を中心に、学力の動向を的確に把握し対応を行ってきた結果、東京大学5名、京都大学3名、大阪大学3名、国立大医学部5名、九州大学37名合格という受験結果にも表れた。また、部活動においても、全国や九州大会に出場するなどは本校の伝統的校風である文武両道を高いレベルで実践した結果である。</p> <p>より高きに挑戦する気概を持ち心身共に健全なたくましい生徒を育成するとともに、最終的には「来て良かった」「あずけて良かった」と思われる学校作りに取り組むことが本校の使命であると考えている。</p> <p>そのために2年次の文理別クラス分け、3年次の志望校別クラス編成を最大限に生かすため、学年指導、担任指導、教科指導のあり方をそれぞれ再点検し、より効果を高めるためにはどうしたらよいか、生徒の意欲をより高めるためにはどうしたらよいかという観点から一層の共通理解を図って行くことが課題であり、さらには、本校の進学実績や取り組みを今後も幅広く広報し、魅力のある学校として目的意識の高い生徒の入学にも力を入れていきたい。</p> <p>また、将来いろいろな分野でリーダーとして活躍することが期待される人材を育成するために勉学だけに偏らない幅広くまた骨太の人格形成を目指して、部活動の奨励はもちろんのこと、読書教育、保健教育、環境美化教育等にも力を入れていきたいと考えている。</p>		
5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	・本年度の重点目標を周知させることができたか。 ・本年度の重点目標への取組を生徒・保護者が高く評価したか。	・重点目標を知っている保護者の割合を100%にする。 ・重点目標の取組について、「非常によい」、「よい」と思う生徒・保護者の割合を80%以上とする。	・重点目標を後援会総会、学校だより、保護者会、本校HPを通して同じ文言で繰り返し発信し、周知を図る。 ・開かれた学校づくりを行い、後援会・保護者に対して重点目標達成の取組を具体的に、積極的に公開する。
	○広報活動	・保護者への情報提供は十分にできたか。 ・中学生への情報提供は十分にできたか。	・学校の諸活動、諸行事についての情報を保護者に適切に伝える。 ・西高の魅力をより具体的に、中学生に伝える。	・「西高だより」の内容を保護者のニーズに合うものにする。また、ホームページの更新を適宜行い、新しい情報を提供する。 ・西高パンフレットをより良い内容に検討し作成する。体験入学の内容を中学生によりわかりやすく魅力的なものにする。
	○学校事務	・学校管理運営費を教育水準を落とすことなく、節約できたか。	・学校運営費は前年並みの厳しい予算となっているが、その中で教育条件整備のより効果的な執行を目指す。	・コピー・印刷用紙の両面印刷及び裏面利用の促進や節電・節水等の呼びかけを行い、節減分で教育条件整備の充実を図る。
	○職員の指導力向上	・難関大入試の教科特徴を把握し、それを活かすことができたか。 ・生徒が目指す大学に関する情報を把握できたか。 ・内容が濃く、わかりやすい授業ができたか。	・難関大学への教科指導が的確にできるところまで全職員の指導力を高める。 ・生徒が目指す各大学の入試システム及び入試問題に全職員が一定の知識を有するようになる。 ・生徒が充実感を味わえる授業を行う。	・難関大学対応のオリジナル模試を実施する。 ・校内で入試問題研究報告会を開催する。 ・校外の入試説明会への全職員の参加を促す。 ・教員相互の授業参観を活性化させる。
学校運営	○授業時数の確保	・授業時間を確保することにより、授業を充実（進度の確保）させることができたか。	・クラス間での教科・科目の授業時間数のばらつきを是正し、適正な授業の進度を確保する	・学期ごとに、授業の欠けた曜日・校時等を把握し、曜日の振り替え等を行う。
	●学力向上	・出口を見据えた学力の向上が計れたか。	・国立大学の二次試験に対応できる学力を養成する。	・1、2年次は国語、英語、数学の学力充実に主軸をおいたシステムを確立する。

教育活動	○進路指導	・生徒個人がより高い進路目標を掲げ、その実現のための大学進学を果たすことができたか。	・3年生、東大5名、九大50名、国立大医学部医学科10名の合格者を出す。 ・1、2年生、それぞれ東大40名、九大160名の志望を確保する。	・進路講演会の更なる充実をはかる。 ・進路検討会、学力検討会を充実させる。 ・小論文研究を充実させる。 ・保護者参加の合格体験発表会を実施する。
	○家庭学習	・家庭学習時間を十分に確保できたか。 ・家庭学習時間に教科の偏りはなかったか。	・1日3時間以上の家庭学習を目指す。 ・不得意教科へ意識を持たせ、改善、得点率を着実に向上させる。	・「日々の記録」週間で得たデータを活用し、学習時間が不足している生徒に適切な指導を行う。 ・模試の結果および「日々の記録」のデータ分析より、バランスのとれた家庭学習を行い、成績が上昇するよう個別に学習指導を行う。
	●心の教育	・基本的な生活習慣を身につけさせることができたか。 ・交通安全の意識を高めることができたか。 ・生命尊重の意識を高めることができたか。	・品位・礼節ある態度を身につけさせる。 ・自転車マナーの理解・徹底をさせる。 ・自他の生命を尊重し、いじめのない生き生きとした学校生活を実現する。	・学年と生徒指導が組織力を持って、身だしなみの指導を行うとともに、教師自ら率先して挨拶を行い、生活全般にわたり模範となって生徒を指導していく。 ・面接・声かけなどを積極的に言い、生徒の声に耳を傾け、意思の疎通を図る。 ・生徒指導部が随時、校内を見回り指導していく。 ・登校指導において交通マナー・7時45分着席を指導してしていく。 ・講演や集会などで命の大切さを訴えていく。
	○環境美化	・教室が学習環境として整備されているか。 ・ゴミの分別、減量化ができたか。	・各教室が常時整理整頓され、清掃の行き届いた状態にする。 ・環境美化に関する意識を高める。	・学期に1回の環境美化週間を設け、保健委員による点検を実施し、生徒の意識を高めるとともに教室の環境を整える。 ・ゴミの分別指導と持ち帰りの呼びかけを行う。
	○読書指導	・生徒の読書活動や調べ学習の場としての機能を図書館が十分に果たしているか。 ・良書に親しみ、読書を通して思索を深めたり感性を豊かにしようとする態度を育成できたか。 ・朝の10分読書が充実したものになっているか。	・生徒一人当たりの年間平均貸出冊数を、2.0冊以上となることを目指す。 ・読書感想文コンクールの県審査において、計8名以上の入賞者を目指す。 ・全生徒が集中して読書できる環境をつくる。	・図書館だより「遠心」をより充実した内容にするともに、生徒の意見を取り入れ、利用しやすい図書館づくりを目指す。 ・読書感想文に対する生徒の意欲を喚起するとともに、校内審査段階でのチェックや清書指導を丁寧に行う。 ・生徒が主体的に取り組む読書指導（図書委員中心の読書、巡回指導等）を充実させる。
	●健康・体づくり	・心身共に健康な生活が実現できるための指導、支援ができたか。 ・保健室利用者が教室に復帰できたか。	・生徒自ら心身の健康状態を把握するとともに、予防や食育についての指導を行う。 ・利用者数を減らすとともに早期に教室に戻れるように指導する。	・健康診断結果を活用し、受診を要する生徒への指導を充実させ、また「保健だより」を利用した指導も行う。 ・自分の身体の状況を把握させ、回復への手だてを考えさせ、実践させる。
	特定課題	○長期欠席・不登校傾向の生徒に対する対応	・本人や保護者と担任とが連携して生徒の実情に合った指導ができたか。	・登校状況を把握し、共通理解のもと教室への復帰を目指す。

●印：共通評価項目、 ○印：独自評価項目